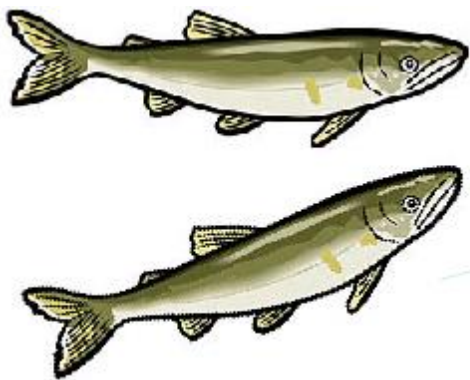




アユ情報

第13号

2026年8月4日
栃木県水産試験場

那珂川の遡上調査

- ・那珂川茂木地区における今期のアユ遡上調査が終了しました。
調査結果は下記の通りとなりました。



Instagram企画
那珂川アユ釣り
ダービー
開催中！！



【今年の傾向】

- ・初遡上確認日は前年より約1ヶ月、過去10年平均より約2週間遅かった。
- ・遡上は低水準にとどまり、群れの数も調査開始以来最も少なかった。
→ 7月下旬に大型魚の釣果が目立ち、低密度による高成長が示唆された。

① 投網による採捕調査

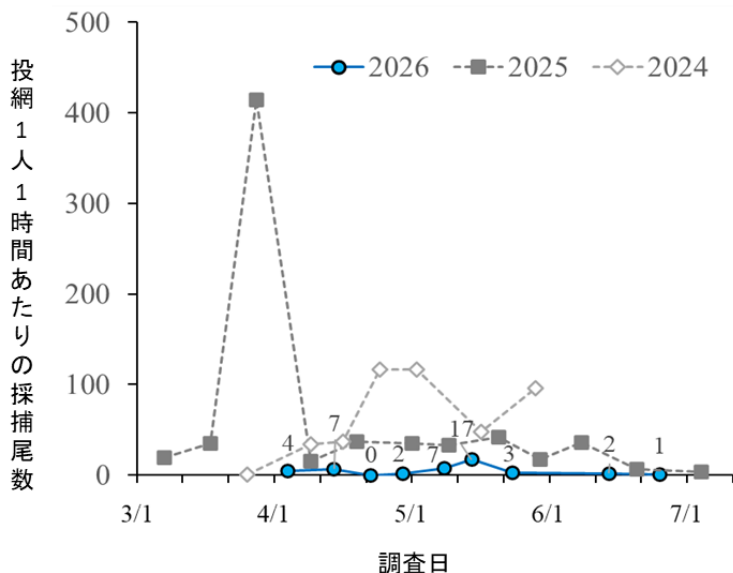


図1 投網による採捕尾数



写真1 4/3 初採捕の天然遡上アユ
(平均全長 7.4cm)

- ・今年は4月3日に初めて遡上アユが確認されました。昨年(3月7日)より27日、過去10年平均(3月21日)より13日遅く、近年では遅い遡上確認となりました。また、図1のとおり投網1人1時間あたりの採捕尾数は近年に比べて低調で、5月中旬がピークとなりました。

② 遡上群の観察調査

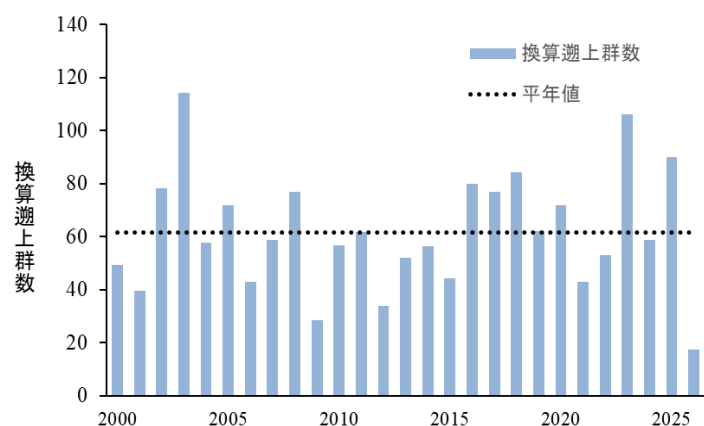


図2 年次別遡上群数

※1. 帯状の群れは、だんご状の群れ×1.8倍で換算

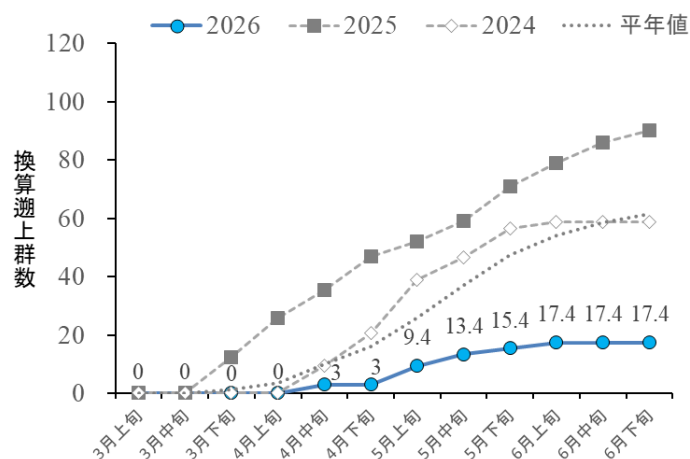


図3 旬別遡上群数の累計

・茂木地区の調査員が3月から6月の間、2地点においてアユの遡上群数の調査を毎日行いました。今年度の換算遡上群数は^{※1}17.4群で、調査開始以来最も少ない値となりました（図2）。

・遡上群数は、図3のとおり採捕調査結果と同様に平年より遅い4月から確認されました。遡上期間は前年の6月下旬までに対し本年は6月上旬までとなりました。

・これらの変化の背景には、アユ稚魚の降海期にあたる前年秋の渇水により、海へ到達した個体数が減少した可能性や、海洋生活期の水温が近年に比べて低く推移したことで、海での成長が抑制された可能性など、さまざまな環境要因が影響したものと考えられます。今後は、昨年度から大きく変化した遡上動向の要因について、さらに調査を進めます。

◎ ダービー投稿からみた大型アユの釣獲状況



写真2 那珂川アユ釣りダービーに投稿された大型アユの写真

・那珂川で釣れたアユのサイズを競うInstagram投稿企画「那珂川アユ釣りダービー」（主催：那珂川あゆ街道推進協議会、共催：栃木県那珂川漁業協同組合連合会・会場）では、7月下旬以降大型アユの投稿が相次ぎ、最大で27.1cmのものが報告されています。アユは遡上量が少ない年に大型化する傾向が知られており、密度低下に伴う成長促進が示唆されました。